

# 令和5年度 野菜関係概算決定の概要等について

---

2023年3月10日

農林水産省

# 野菜価格安定対策事業

【令和5年度予算概算決定額（所要額）15,621（15,612）百万円】

## <対策のポイント>

野菜（指定野菜・特定野菜）の生産・出荷の安定と消費者への安定供給を図るため、産地単位での計画的な生産・出荷に取り組むとともに、**価格低落時には生産者補給金等を交付**します。

## <政策目標>

野菜の取引価格の安定化（取引価格が平年比80%~120%に収まる期間の割合：56% [平成28年度] → 68% [令和7年度まで]）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 指定野菜価格安定対策事業

「指定野菜」の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。

### 2. 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業

「特定野菜」の価格が著しく低下した場合に、補給金を交付します。

### 3. 契約指定野菜安定供給事業

契約取引される「指定野菜」の価格が著しく低下した場合等に、補給金を交付します。

### 4. 契約特定野菜等安定供給促進事業

契約取引される「特定野菜」の価格が著しく低下した場合等に、補給金を交付します。

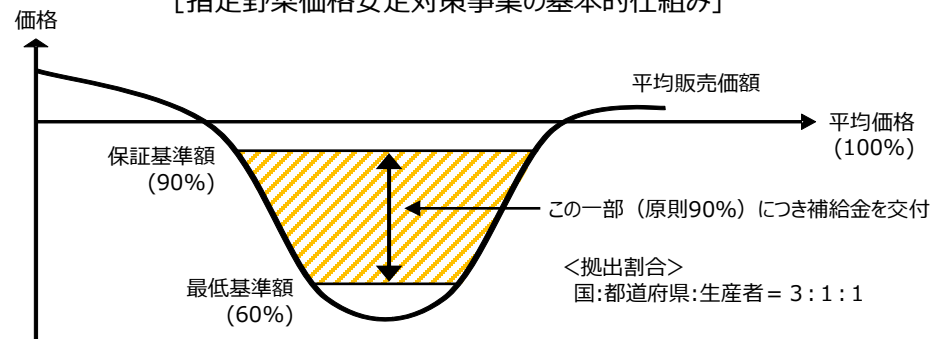
### 5. 契約野菜収入確保モデル事業

産地要件によらず契約取引される「指定野菜」の価格が著しく低下した場合等に、交付金を交付します。

### 6. 緊急需給調整事業

「指定野菜」のうち重要野菜・調整野菜の価格が著しく低下し出荷調整を行った場合等に、交付金を交付します。

## 【指定野菜価格安定対策事業の基本的仕組み】



### 指定野菜（14品目）：国民消費生活上重要な野菜

キャベツ※、きゅうり、さといも、だいこん※、トマト、なす、にんじん※、ねぎ、はくさい※、ピーマン、レタス※、たまねぎ※、ばれいしょ、ほうれんそう

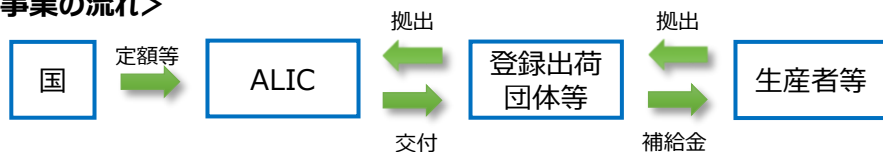
※は重要野菜または調整野菜

### 特定野菜（35品目）：国民消費生活上や地域農業振興の観点から指定野菜に準ずる重要な野菜

アスパラガス、いちご、えだまめ、かぶ、かぼちゃ、カリフラワー、かんしょ、グリーンピース、ごぼう、こまつな、さやいんげん、さやえんどう、しゅんぎく、しょうが、すいか、スイートコーン、セルリー、そらまめ、ちんげんさい、生しいたけ、にら、にんにく、ふき、ブロッコリー、みずな、みつば、メロン、やまのいも、れんこん、ししとうがらし、わけぎ、らっきょう、にがうり、オクラ、みょうが

【お問い合わせ先】 農産局園芸作物課（03-3502-5961） 1

## <事業の流れ>



## <対策のポイント>

実需者ニーズに対応した、園芸作物の生産・供給を拡大するため、**加工・業務用向け野菜の大規模契約栽培に取り組む産地の育成等**を支援します。

## <事業目標>

加工・業務用野菜の出荷量（直接取引分）の拡大（98万t [平成29年] →145万t [令和12年まで]）

## <事業の内容>

### 大規模契約栽培産地育成強化事業

実需者からの国産野菜の安定調達ニーズに対応するため、**加工・業務用向けの契約栽培に必要な新たな生産・流通体系の構築、作柄安定技術の導入等**を支援します（15万円/10a）。

（関連事業）

### 産地生産基盤パワーアップ事業のうち国産シェア拡大対策（園芸作物）

園芸産地が抱える課題に緊急に対応するとともに、輸入野菜の国産への置換え等、我が国の**食料安全保障にもつなげる産地強化のための取組**を支援します。

#### 1. 出荷作業合理化実践支援

トラック輸送の軽労化を図るため、11パレットに対応可能な段ボールへの変更に必要な施設改良、パレタイザー等の導入に係る経費を支援します。

#### 2. 生産体制合理化実践推進支援

実需者との契約栽培の拡大のため、機械化一貫体系による省力化・低コスト化を図る農業用機械、予冷・貯蔵庫等のリース導入を支援します。

#### 3. 新素材活用生産資材の導入支援

生分解性マルチへの転換により省力化・低コスト化を推進するため、生分解性マルチの購入費の一部支援、同資材の普及・定着に向けた取組を支援します。

#### 4. 大型加工施設等整備事業

豊作時にも原料野菜の冷凍による一時的なストックを通じた出荷調整が可能となるよう、生産性の高い大型加工施設等の整備に係る経費を支援します。

## <事業イメージ>

### 加工・業務用向け野菜の大規模契約栽培への支援

#### <生産流通体系の構築>



加工適正の高い品種導入



大型コンテナの導入

#### <作柄安定技術の導入>



排水対策

### （関連事業）冷凍野菜等の国産切換えへの推進支援

#### <物流合理化>



パレタイザー等の導入

#### <機械化一貫体系>



畝立同時施肥機



全自動移植機



収穫機

#### <新素材活用>



生分解性マルチへの転換



作物収穫後にすき込み

#### <冷凍貯蔵>



大型加工施設の整備

## <事業の流れ>



# 産地生産基盤パワーアップ事業(加工・業務用野菜等関係)

## <対策のポイント>

昨今の国際情勢の不安定化に伴い、生産資材コストの急騰や物流の混乱等が生じている中で、園芸産地が抱える生産・流通・加工のあらゆる面での課題に緊急に対応し、輸入野菜の国産による奪還等、我が国の食料安全保障にもつながる園芸産地の強化を実践するため、**生産体制の合理化、出荷作業及び流通の合理化**等を総合的に支援。

## <事業目標>

冷凍野菜等における国産切替えの推進を通じた食料安全保障の確立。

### <事業の内容>

#### 1. 生産体制合理化実践推進支援

機械化一貫体系による省力化・低コスト化を図りつつ、実需者との契約栽培の作付拡大により、加工・業務用野菜の生産を拡大し、輸入野菜の国産切替えを強力に推進する取組に対し、各種機械や予冷・貯蔵庫のリース導入を支援。

#### 2. 新素材活用生産資材の導入支援

野菜生産において必要不可欠なマルチについて、回収作業や処分が不要な生分解性マルチへの転換により、省力化・低コスト化を推進するため、生分解性マルチの購入費の一部を支援するとともに、同資材の普及・定着に向けた取組を支援。

#### 3. 出荷作業合理化実践支援

集出荷貯蔵施設でのパレットの普及によりトラック輸送の軽労化を図るため、11パレットに対応可能な段ボールへの変更に必要な施設改良、パレタイザー等の導入に係る経費を支援。

#### 4. 大型加工施設等整備事業

冷凍野菜について輸入から国産への切替えを推進し、豊作時にも原料野菜の冷凍による一時的なストックを通じた出荷調整が可能となるよう、輸入野菜に対抗するための生産性の高い大型加工施設等の整備に係る経費を支援。

### <事業イメージ>

食料安全保障の確立

冷凍野菜等の国産切替えの推進

産地や実需者による戦略的な取組

